

10月児童朝会

10月1日(水)児童朝会をしました。

季節のお話とあいさつのお話をしました。季節の話は、まず、9月～11月が秋、秋の彼岸が9月20日～26日と日の確認をしました。次に、彼岸は、農作業の合間の休養や節目として過ごす日で、農業を本格的に再開する日になることを話しました。そして、東神吉南小学校には、農業に関係する行事として稲刈りと脱穀があることを確認しました。さらに、昔の人たちは季節と自分たちの



仕事を組み合わせて生活していたことを伝え、南っ子も登下校で通る道で、田や畑、花や木々の様子が変わるのを見て、色々なサインを感じ取ってほしいと話しました。

続けて、あいさつの話は、校長が実際に学校周辺の方に挨拶をした話をしました。

後半は、生活指導担当の富田先生から帰宅時刻が10月から17時に変わっていることと、No.36で紹介した教育実習生3人と9月29日から教育実習をしている大学生を含めた4人がお別れの挨拶をしました。実習は明日まで続くのですが、全校生が揃うのが最後なので、挨拶を先に行いました。

今日、門であいさつをしていると、なかよし農園を見ながら歩いてくる子が、いつもより多かった気がします。また、9月の生活目標が「名前をつけてあいさつをしよう」でした。1学期の児童朝会で紹介した内容を盛り込んでくれたのかな?もし、そうだったら嬉しいなと思いました。そして、挨拶の重要性が子どもたちに浸透し、子どもたちが友達と仲良くし、意見を言い合い、共に成長していける関係になれることを願っています。

